

# 誠心 まごころ

第20号  
2024年1月1日 発行

発行  
医療法人社団 誠広会  
平野総合病院



## 新年のご挨拶

理事長 平野 聡子

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

長かったコロナ感染症も落ち着きをみせ、徐々に日常に戻りつつありますが、当法人もさまざまな行事を見送る等、コロナ前の生活に戻るには時間がかかりそうです。

つらいコロナ感染症の時代でしたが、唯一良かったことは、学会や会議などがWEB開催されることが多くなったことです。現場開催でしか味わえない良さもちろんありますが、対面なしでも参加でき、繋がることのできる機会が増えたことは大変ありがたいです。

医療界では、医師をはじめとする医療従事者の働き方改革、医師偏在による地域の医師不足、病床機能・外来機能の分化・連携、医療のデジタル化、物価の高騰、消費税問題、超少子高齢化、新興感染症への対応等に加え、春には診療報酬・介護報酬のダブル改定、障害福祉サービス等報酬も合わせるとトリプル改定となり、これらに対してどのように対応をしていくのか問題山積です。

昨年突然発表された、今年7月をもって岐阜高島屋が閉店するというニュースはあまりにもショックでした。岐阜県内にはついに一軒もデパートがない状況となり、これは山形、徳島、島根に次いで4番目にデパートのない県になったとのことです。

地域の発展のため、様々な催し物を開催されている企業・会社・団体等も散見されます。当法人も岐阜市北西部の地域包括ケアシステムを担う地域密着型の法人になれるよう、より地域に根付いた何かしらの活動を考え、地域医療・介護・福祉に貢献できるよう、職員一丸となって頑張っていこうと思っています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 地域医療連携センター

次長 北村 きみ子

昨年6月に「地域連携室」の名称を改め、「地域医療連携センター」と名称を変更致しました。  
ひきつづき基幹病院、開業医の先生方との連携を密に図ってまいります。

医療・福祉・介護の全てを支援する部署として新しく相談室も設置し、地域の皆さんに気軽に立ち寄って頂ける環境を整えております。

- 看護師：患者さんが不安に思っている事、悩んでいる事、医師と患者さん・ご家族のかけ橋になれるよう相談をお受け致します。
- 社会福祉士：身体上もしくは精神上、経済的に困窮した患者さん・ご家族に対して安心して治療を受け社会復帰ができるよう支援しています。
- 介護支援専門員：介護保険制度のご利用についての説明をさせていただきます。

地域医療連携センターには看護師・社会福祉士・介護支援専門員・事務職と6名のスタッフが常駐しております。

患者さん・ご家族の皆さんの相談にも対応させていただきます。お気軽にお立ち寄り下さい。



<相談室>

# 通所リハビリテーション（岐阜リハビリテーションホーム内）

「介護老人保健施設岐阜リハビリテーションホーム」では地域在住の方々のリハビリ継続や入浴などのニーズに対して、「通所リハビリテーション」をご提供しています。

当施設の通所リハビリテーションは、「一日デイケア」と「短時間デイケア」があります。

## 一日デイケア

「リハビリ・昼食・入浴・レクリエーション」の内容で、6時間以上7時間未満のサービスです。

リハビリによる日常生活動作能力の維持向上や自宅での入浴にご不安がある方の入浴支援やご家族の介護負担軽減などの目的で、サービスを提供させて頂いています。



## 短時間デイケア

「リハビリ」に特化した1時間以上2時間未満のサービスです。

経験年数10年以上の理学療法士・作業療法士が複数名在籍し、病状に応じた20分以上の個別リハビリや自主トレによるパワーリハビリを中心にサービスを提供させて頂いています。



現在、医療と介護のスムーズな連携が必須とされています。我々は、医療保険でのリハビリ適応期間が終了後も、身体機能の維持向上のためにリハビリの継続が必要とされる利用者さんが多く存在していると日々感じています。平野総合病院やその他の病院・クリニック等と連携し、リハビリ継続が必要な利用者さんに適切な医療情報を共有した上で、適切なリハビリを提供しています。

## 【ご利用方法】

お問い合わせ・お申し込みは、担当ケアマネージャー、または下記お問い合わせ先まで、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ 介護老人保健施設岐阜リハビリテーションホーム 通所リハビリテーション  
理学療法士：吉村 孝之 携帯電話：080-7740-3865  
電話番号：058-230-9231 FAX：058-230-9232

